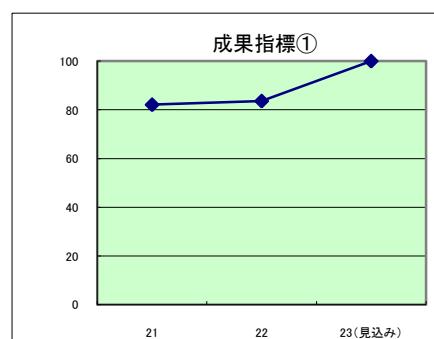
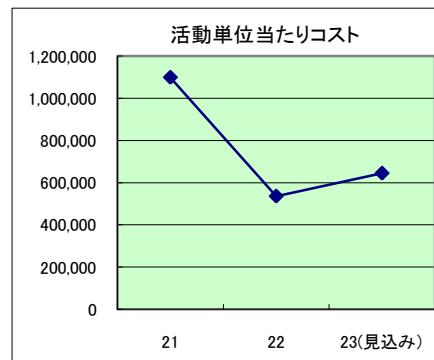


平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号 保福総15

総合基本計画	事務事業名	地域福祉推進委員会運営事業		予算科目	会計	1	一般会計			
	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	3	民生費			
	施策(節)	2	地域福祉		項	1	社会福祉費			
	施策の方向	(3)	地域福祉を推進するための基盤づくり		目	1	社会福祉総務費			
関連する計画等		羽曳野市地域福祉計画、羽曳野市民福祉活動計画		作成部署	地域福祉推進					
事業の目的	対象(誰を・何を)		連絡先		保健福祉部福祉総務課	072-958-1111 内線 1121				
事業の内容	地域福祉推進委員会 意図(どういう状態にしたいのか) 地域福祉計画の点検・見直しのために、効率的かつ効果的な運営を行う。 平成17年度策定の羽曳野市地域福祉計画の①進捗状況の把握、及び評価に関するこ と②計画の見直しに関するこ と③地域福祉に関するこ とを審議する。 委員数は28名(市議2名) 各種団体代表・校区福祉委員会代表も参加している。									
根拠法令等	社会福祉法、羽曳野市地域福祉推進委員会規則									
事業開始時期	<input type="checkbox"/> 昭和 19 年開始	<input type="checkbox"/> 明確にはわからない	<input checked="" type="checkbox"/> 平成	<input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている	終了年度	平成	年度			
事業開始時からの状況変化										
市民や議会の要望										
実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 補助金・助成金	<input type="checkbox"/> その他()					
委託先	<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称()	<input type="checkbox"/> 民間委託		委託内容						
区分		21年度	22年度	23年度						
		(実績)	(実績)	(見込み)						
事業費【1】(千円)		199	738	637						
人件費【2】(千円)		900	1,944	1,944						
職員数	正規職員	0.12 人	0.27 人	0.27 人						
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人						
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人						
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人						
	超過勤務(参考)(時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間						
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		1,099	2,682	2,581						
財源内訳	国費(千円)									
	府費(千円)									
	市債(千円)									
	その他(手数料・使用料等)(千円)									
	一般財源(千円)	1,099	2,682	2,581						
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)					
① 委員会開催回数		回	1	5	4					
②										
③										
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)		1,099,000 円	536,400 円	645,250 円						
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		9 円	23 円	22 円						



成 果 指 標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
	①	(式)	1回あたり委員会への委員の出席率	目標	100	100	達成率(%)	100
				実績	82	84 <th data-kind="ghost"></th> <td data-kind="ghost"></td>		
				目標			達成率(%)	
②	(式)			実績			達成率(%)	

市の 関与の 必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1 法令上の 義務	2 受益者 が不特 定多数	3 最低限 の生活 水準を 確保	4 市民の 不安を 解消	5 社会的 経済的 弱者を 対象	6 民間だ けでは 負担しき れない	7 民間だ けでは 供給不 足	8 市の特 色等を 市内外 へ発信	9 第三者 にも受 益があ る	必要性	分析・評価の説明
		○								有	市地域福祉計画を見直しするうえで、委員会は重要な役割を担っている。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	✓	□	□	計画が実際にどのように実施されているか、市民のチェック機能として重要である。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	✓	□	□	
		社会情勢の変化に対応している	✓	□	□	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	✓	□	□	
		国・府の事業と重複していない	✓	□	□	
	効率性	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	✓	□	□	報酬は支払っているが、内容を鑑みれば、効率性は高い。
		緊急性が認められる	✓	□	□	
		単位コストが適切である(経年、他市比較など)	✓	□	□	
		受益者負担の割合は適当である	□	□	✓	
	有効性	人員を削減する余地がない	✓	□	□	福祉計画の進行管理という明確な目的を持っている。
		事業費を削減する余地がない	✓	□	□	
		簡略化できる方法や手段がない	✓	□	□	
		市の他の事業と重複していない	✓	□	□	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	✓	□	□	
	協働性	上位の施策(目的)が明確である	✓	□	□	まさに市民の委員会として機能している。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	✓	□	□	
		成果を向上させる余地がない	✓	□	□	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	✓	□	□	
	達成度	事業の企画、立案に市民が参加している	✓	□	□	会議への出席率はその内容を左右するため適切であり、概ね8割以上を確保している。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	✓	□	□	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	✓	□	□	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	✓	□	□	
		成果指標の目標値は適正である	✓	□	□	
		成果指標の実績値は目標値以上である	□	✓	□	
		成果指標は前年度より向上している	✓	□	□	

担当部局評価	総合評価
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由
	地域福祉推進委員会は地域福祉計画に基づく事業の進行管理を行い、各福祉事業に意見を述べることとされ、保健福祉部の施策運営に大きく寄与する。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)
	平成22年度に地域福祉計画の見直し(改訂)を実施したところであり、平成25年度に、計画の中間見直しを実施予定。各校区福祉委員会の活動内容等の精査を行い、地域福祉がその時代に合致した計画となるよう委員会の運営に当たっていく。
	総合評価
	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価理由・意見